

令和8年度常総市立豊岡小学校グランドデザイン



本校の教育目標
未来の夢に向かって 心豊かに 自ら考え行動できる児童の育成



<茨城県学校教育指導の方針>
すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
・カリキュラム・マネジメントの確立
・未来を拓く学びの展開
・安心して学べる環境の保障

<常総市の学校教育>
夢をいだき 未来を創る
ほっとな絆の 常総教育
未来に夢を持ち
「生きる力」を育む
学校教育の充実




教育理念
明日も行きたいと思える学校づくり
～認め、励まし、一人一人に寄り添う教育～

学校経営の重点

- 1 多様性を尊重する学校づくりを推進する
- 2 児童の確かな学力を培うことのできる学校づくりを推進する
- 3 児童の安全・安心を確保できる学校づくりを推進する
- 4 児童・保護者・地域からの信頼を得られる学校づくりを推進する

本年度の組織目標
一人一人の子供を主語にする学校教育の実現

【グランドデザインとは】
児童や保護者、地域住民の方々の願いや期待を踏まえ、自校の目指す学校像や育成すべき児童像を描き、その実現を図るための組織的な取組を示した学校経営の基本方針です。



ホームページ

夢や希望を持てる子 (学力)

思いやりのある子 (道徳性)

自ら考え行動できる子 (体力)

	伝える相手や目的に応じた言語能力を身に付けさせます。	善悪を判断する能力を身につけさせ、よりよい生き方を志向する感情を高めます。	健康や運動についての自己課題を見つけ、解決に向けて思考判断し、他者に伝える力を身に付けさせます。
重点	自分の考え思いを、書くことができるようにします。 【伝える力】	自分を大切に、お互いを敬い思いやれる児童を育てます。 【自他尊重】	食への感謝の気持ちを高め、体力向上に務めます。 【食育・健康】
具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ● 指導の個別化と学習の個性化を図った指導の充実 ● 体験的・問題解決的な学習の促進と充実 ● 効果的な活用場面や方法を工夫したICT機器の活用の推進 ● 家庭との連携による学習及び読書習慣づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自発的・自治的な活動を促す学級活動の充実 ● 「考え、議論する道徳」の多様な指導方法の工夫改善 ● 縦割り班清掃、ブロック集会、保幼小中連携等による異学年交流の推進 ● 人権感覚を身に付け、人権意識を育む人権教育の推進 ● 個々のニーズに合わせた特別支援教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自分の命や健康は自分で守る」意識の醸成と指導の推進 ● 業間、昼休み等の主体的な運動習慣の確立 ● 体力テスト等の結果を生かした効果的な指導の工夫改善 ● 発達段階に応じた計画的な保健教育の充実 ● 食に関する指導体制の確立と指導の充実
評価	<p>《目指す児童の具体像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ★授業が楽しいと感じる児童 90% ★自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる児童 85% ★根拠を基に自分の考えを話したり書いたりできる児童 75% ★年間読書数50冊以上の児童 90% 	<p>《目指す児童の具体像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ★いじめを許さない児童 100% ★友達と協力して活動できる児童100% ★差別や偏見をもたない児童 100% ★多様な考えや多様な価値観を認め受け入れることができる児童 100% 	<p>《目指す児童の具体像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ★規則正しい生活ができる児童 95% ★休み時間に外遊びや運動を積極的にする児童 90% ★体力テスト A+B の児童 60% ★体力テスト D+E の児童 15%

校内研修テーマ

「主体的・対話的で深い学び」を育む授業改善 ～話し合いの工夫を通して～

学校経営の基調

学校が楽しい
明日も学校に行きたい
・自分はやればできる、自分は誰かのためになっている
・楽しい分かる授業の実践
・安全で安心して過ごせる学校

特別支援教育の充実

児童一人一人の発達の段階や教育的ニーズに応じた指導の充実を図ります。
支援が必要なすべての児童に手を差し伸べます。

働き方改革の推進

教師一人一人の働き方を見直し、超過勤務時間を45時間以内にします。
子どもたちに対して効果的で、質の高い教育活動を持続的にを行います。

地域とともにある学校づくりの推進

社会に開かれた教育課程を実現します。
・地域の人的・物的資源の活用や社会教育との連携 ・保幼小・小小・小中連携の充実
・学校を核とした保護者・地域住民や関係機関との連携・協働の推進

